

# 全国農業



NATIONAL AGRICULTURAL NEWS

# 新聞

2025年(令和7年)

1月1日 水曜日  
月4回金曜日発行

## 首都圏

農産物の販売方法が多様化し、直売や6次産業化に取り組む人たちの勢いが増している。地元生産者の農産物などを集めた共同直売所は、地域内流通ならではの鮮度の高さや産地感といった魅力から、消費者の人氣も高い。今年の干支は巳(蛇)。直売所などに多くの客が列をなす繁栄の年になるよう、各地の魅力ある直売スタイルを取り上げる。

## 伝統野菜 冬の目玉に

### 甲府市 風土記の丘農産物直売所



①開店を待つ行列、②にぎわう直売所



【山梨】中央自動車道 甲府南インターから降りてすぐに位置する「風土記の丘農産物直売所」。2014年にオープンし、昨年11月で10周年を

迎えた。

肥沃な土壌に恵まれた甲府市中道地区周辺の野菜を中心に、初夏のトウモロコシ、夏から初秋のモモ・スモモ・ブドウ・梨、

秋からの柿・キウイなど、一年を通して質の高い農産物を販売している。

特にトウモロコシの「きみひめ」は甘みが強く食べやすいのが特徴

で、毎年遠方からのリピーターが開店前に行列を作り、行列は農産物のリレーでブドウが終わる10月まで毎日続くという。昨年からは、江戸時代から栽培されていた野沢菜に似た漬け菜で、独特の苦みが特徴の「長禅寺菜」とその漬物の販売をスタート。問い合わせも多く、冬の新たな目玉商品になりそうだという。

併設しているレストランのファームキッチン味菜では、地元野菜を使った季節の野菜カレー、ほうとうなどのほかに、旬の果物のパフェやスムージーなどの限定メニューを販売し、好評だ。

直売所を運営している(一社)中道農産物加工直売組合の柿嶋美保子代表理事は「今後もお客さまファーストの考えを継続し、価格や品質を保つていきたい」と語る。

詳細は、ホームページ(<https://fuodki-nakami.com>)を参照。年始は4日から営業予定。

## めざせ！長蛇の列

### 繁栄の年へ魅力の販売スタイル

